



ゴール目指して元気よくスタートする参加者ら＝15日、湯梨浜町引地の中国庭園「燕趙園」前

24時間100キロ完歩へ 日韓の“鉄人”出発

県中部一帯で未来ウォーク

「第3回SUN-I

N未来100キロウォーク

ク」(未来ウォーク実行委員会主催)が15日、湯梨浜町引地の中国庭園燕趙園を発着点にスタートした。日韓の“鉄人”ら137人が制限時間の24時間以内のゴールを目指し、元気よく出発した。

同園から三朝町、倉吉市、北栄町と歩き、琴浦町の鳴り石カフェで折り返すコース。県中部1市4町の風光明媚な景色が存分に楽しめる。個人から一組でたすきをつなぐチームで挑戦する。

ウォーキング連盟との共催で、日韓交流ウォーキング大会と位置付けられており、韓国からは13人が参加した。

NPO法人未来の岸田寛昭理事長らのあいさつに続き、元気よく出発した。湯梨浜町久留の谷本淳さん(4)は昨年チームで出場。今年は個人で100キロに挑戦し「100キロは歩いたことがない。途中でしんどくなったら自分との闘いになる。とにかく完歩したい」と話していた。

一昨年に続いて大韓